

平成30年8月28日(火) 12996号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

地金生産が堅調に推移

上半期世界鉛・亜鉛需給

鉛・亜鉛とも供給不足幅縮小

国際鉛・亜鉛研究会(ILZSG)がこのほどまとめた2018年上半期の鉛・亜鉛の世界需給動向によると、鉛・亜鉛とも供給不足となったものの、不足幅は前年同期に比べ縮小した。

なお、ILZSGは集計に当たり、中国の4月と5月のデータが不明であるとして、中国に関しては推定と説明した。

<鉛>

鉱山生産量は225万8,000トンで、前年同期比4.2%減少。豪州やカザフスタン、ペルー、米国で生産が低迷した。

地金生産量(二次スクラップを含む)は579万4,000トンで、昨年の上半期に比べ1.2%増加した。インドや米国での増産が全体を押し上げた。

地金消費量は、前年同期比0.5%増の583万3,000トン。ドイツと米国で地金消費が活発だった。

地金生産量から地金消費量を差し引いた結果、上半期は3万9,000トンの供給不足となった。供給不足幅は前年同期の8万1,000トンから4万2,000トン縮小した。

<亜鉛>

鉱山生産量は606万8,000トンで、前年同期比2.4%減少。豪州とインドで生産が低迷、中国も生産を縮小したとみられる。

地金生産量(二次スクラップを含む)は662万7,000トンで、前年同期比2.1%増加。ベルギー、カナダ、日本のほか、中国でも生産量が増えたもよう。一方、インドや米国では減少した。

地金消費量は664万4,000トンで、前年同期比0.6%減少した。欧州で消費が伸びた一方、南アフリカや台湾、米国で前年同期を下回った。

地金生産量から地金消費量を差し引いた結果、上半期は1万7,000トンの供給不足となった。供給不足幅は前年同期の19万3,000トンから17万6,000トン縮小した。

18年上半期(1~6月)の鉛・亜鉛需給動向

		18年6月(万トン)	18年1~6月(万トン)
鉛	鉱山生産量	35.83	225.8
	地金生産量	96.19	579.4
	地金消費量	96.59	583.3
	生産量-消費量	▲0.4	▲3.9
<small>地金生産量は二次スクラップ含む ▲は供給不足</small>			
		18年6月(万トン)	18年1~6月(万トン)
亜鉛	鉱山生産量	102.75	606.8
	地金生産量	111.91	662.7
	地金消費量	111.60	664.4
	生産量-消費量	0.31	▲1.7
<small>地金生産量は二次スクラップ含む ▲は供給不足</small>			

社会の発展とその未来に
 テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

http://www.kyowadensen.co.jp/

 協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

中国の需要後退懸念強まる

7月の亜鉛市況動向

亜鉛価格は1年ぶりの安値


独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) がまとめた2018年7月の亜鉛市況動向では、中国の需要後退への懸念からロンドン金属取引所 (LME) の亜鉛相場は軟調な展開となり、一時ほぼ1年ぶりの安値圏となった。

7月は2,915ドルでスタート。上旬は、米中貿易摩擦や中国固定資産投資の伸び率が1995年以降で最低となったことから亜鉛相場は下落傾向が継続。7月6日には米国による対中追加関税措置が発動して価格を下げし、11日は2,574ドルまで下落した。

中旬に入ると、16日に発表された中国の18年第2四半期の実質国内総生産 (GDP) が前年同期比6.7%増と第1四半期の6.8%を下回り、中国需要減退懸念が広まった。

トランプ大統領は26日、欧州連合 (EU) との間で貿易摩擦の緩和に向けた協議で合意したことを明らかにしたが、米中貿易摩擦の緩和にはつながらないとして亜鉛価格は軟調な値動きが継続。31日に2,630ドルで月をまたいだ。

需給動向では、ニュー・センチュリー・リソースに関する近況を紹介。同社は8月に開始する豪州・センチュリー鉱山の尾鉱からの亜鉛生産計画で18年第3四半期の亜鉛生産量を4,000トン、第4四半期は3万トンとの見通しを発表した。



<https://nikkankinzoku.co.jp/>
日刊金属の既刊号等を収録しています。
日刊金属
Web Journal

さらに、18年上半期の固定資産投資や不動産開発投資も減速し、同国建設需要への影響が意識され、亜鉛相場は16日には1年ぶりとなる2,527ドルまで値を下げた。

下旬は、LME在庫が減少傾向にあることが支援材料となり緩やかに上昇。足元は依然として需給が逼迫していることが価格を下支えした。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHGITAKI Corporation

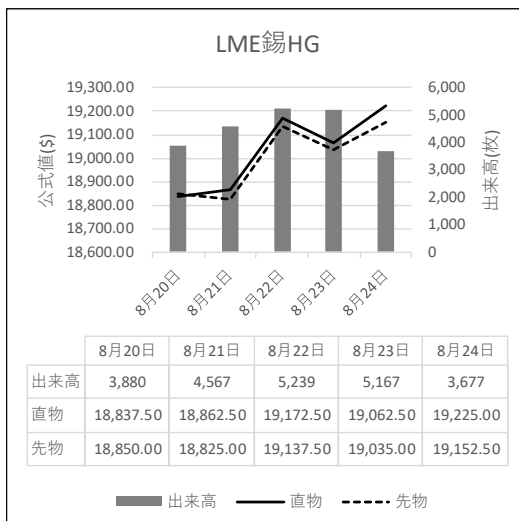
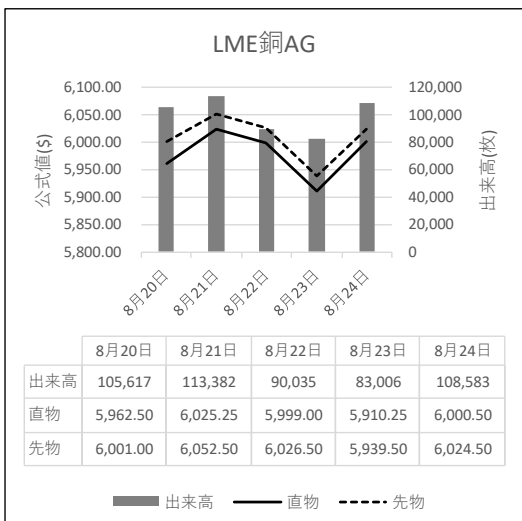
銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530
東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

LME公式値週間推移 8月20日~24日 (現地)



古河機械金属19年3月期第1四半期決算

古河機械金属の2019年3月期第1四半期決算は、金属部門が増収増益だった。電気銅は銅相場の上昇を受けて増収、電気金は生産数量の増加が売り上げを押し上げた。

(単位：億円)

売上高	443.70
	15.1
営業利益	24.66
	44.4
経常利益	26.95
	33.0
四半期純利益	19.06
	178.7

下段は前年同期比 (%)



豪：BHP、2017/18年度決算において法定利益が前年度比37%減の3.71bUS\$となったことを報告

2018年8月21日付の地元メディアによると、BHPは同日2017/18年度の決算報告を公表し、異常な事項を調整した定常的な利益であるunderlying attributable profitは、2016/17年度の6.7bUS\$から33%増加して8.9bUS\$となり、営業活動によるキャッシュフロー（net operating cash flow）も16.8bUS\$から18.4bUS\$に増加したことを報告した。

一方税引き後の利益は、米国シェールガス事業の減損やブラジルSamarco社のダム決壊事故対応費用などが影響し、前年度比で37%減少して3.71bUS\$であった。

同社は、探鉱及び鉱山開発費用として2017/18年度に6.8bUS\$を投じており、2018/19年度及び2019/20年度には同費用として8bUS\$を計上し、WA州のSouth Frank鉄鉱石鉱山建設事業やチリのSpence銅鉱山の拡張事業などに投じる。

一方、過去5年間で12bUS\$以上を達成していた生産性向上による収益は、2018/19年度の当初見込み2bUS\$から1bUS\$に下方修正した。その理由としてBHPは、QLD州の原料炭鉱山における地質工学的問題に起因する生産性改善の遅れや、米国及びチリの生産現場で見込んでいた改善分が資産売却により消失したことを挙げた。また、WA州の鉄鉱石鉱山操業については、当初の想定より低い操業単価を達成することが見込まれると説明した。

新 断 新ダライ

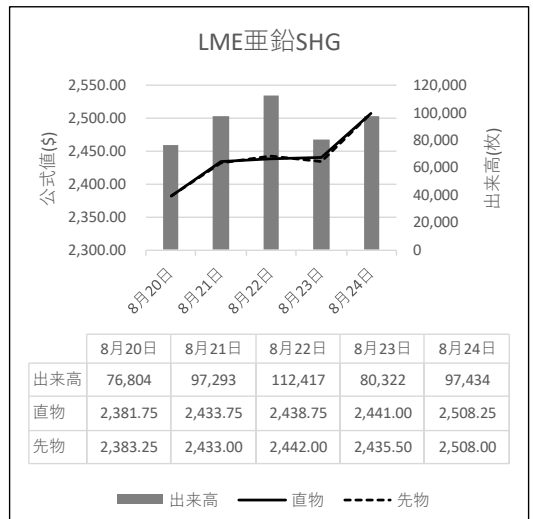
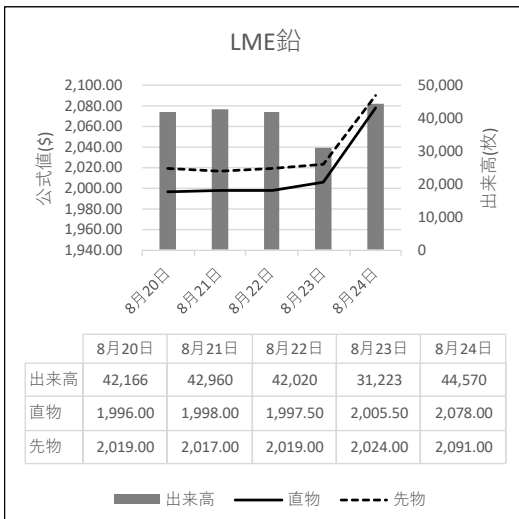
高価買取します。

(株)エイワ産業

〒577-0536 東大阪市渋川町 2-2-2

☎ 06-7891-8180

FAX 06-7891-8170





亜鉛建値は2万7,000円引き上げの33万4,000円 8月の月内建値平均は32万8,500円

三井金属鉱業は27日、電気亜鉛建値を2万7,000円引き上げの33万4,000円にすると発表、同日より実施した。8月の月内建値平均は32万8,500円。

前週末25日入電のLME亜鉛相場のセツルメントが2,509.00ドル、週明け27日の東京市場の米ドルTTSレートは112.20円。この値で換算した採算価格は28万1,500円。建値と採算価格から見た諸掛かりは5万2,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(単位キロ当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

□ 3月	421(1)397(6)388(9)397(14)391(19)	平均396.6
□ 4月	397(2)391(10)376(13)400(19)	平均393.0
□ 5月	382(7)385(10)391(18)376(28)	平均384.5
□ 6月	385(1)403(6)406(13)319(19)355(26)	平均389.0
□ 7月	307(2)352(5)340(11)328(17)340(20)343(25)	平均345.6
□ 8月	349(1)340(7)298(16)307(21)334(27)	平均328.5

故銅市況

前週末25日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日5,910.50のドルより90.50ドル高の6,001.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の5,962.50ドルより110.50ドル高の6,073.00ドル。カーブ取引は前日の5,986.00ドル～5,986.50ドルより119.00ドル～120.50ドル高の6,105.00ドル～6,107.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(8月限)は、前日の265.25セントより4.65セント高の269.90セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(9月限)は、前日の4万8,190元より220元高の4万8,410元。

週明け27日の東京為替市場TTSレートは、前週末の112.51円より0.31円の円高ドル安の1ドル=112.20円。NYカーブLME先物比は1.50ドル高。25日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,001.00ドル。この値と27日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の70万4,000円より9,000円高の71万3,000円。この日、電気銅建値は70万円に据え置かれた。

為替動向

27日午前の東京外国為替市場で円相場は小幅に上昇した。午前9時の気配値は、1ドル=111.27円～111.30円、前週24日の17時時点比0.12円の円高・ドル安。

24日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は、前日比変わらずの1ドル=111.20～111.30円だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.07円の円高・ドル安、1ドル=110.19円～110.29円で取引を終了した。

米国ワイオミング州ジャクソンホールで開かれた世界経済シンポジウムで、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が講演。更なる利上げが望ましいとの考えを示した一方で、「インフレ率が2%を超えてインフレが過熱するリスクの兆候はない」と述べた。

ニューヨーク市場では、FRBの利上げがいずれ終結を迎えるとの思惑から、円買い・ドル売りが出た。ただ、日米欧の株式市場が上昇し、投資家がリスクを取りやすい環境にあったことから、円の上値は限定的だった。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が571～576、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは552～557、並銅は491～496、込銅(高品位=約97%)は451、セバは476～481。コーペルは要り用筋で467、それ以外は459ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋462、それ以外445～470どころの値頃。並青銅鋳物削粉は426～431どころ。

小口市中相場(1トン前後)で、ピカ線が574～579、上銅新くずが541～561、普通上銅が508～518、2号銅線が514～524、並銅が479～480、込銅(90-93%)が438～405、下銅が292～342、セバが443～453、コーペルが399～439、黄銅棒地が455～460、黄銅削粉が403～450、黄銅ラジが354～362、交叉ラジが310～321、黄銅銅鋳物が350～357、送りが170～185、上青銅鋳物が436～452、並青銅鋳物が428～441、上青銅鋳物削粉が433～452、並青銅鋳物削粉が426～430どころ。

ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、110.10円～110.45円だった。

週明けの東京市場では、パウエルFRB議長の講演内容を踏まえた円買い・ドル売りが先行した。ただ、東京株式市場で日経平均株価が上昇しており、リスク選好からのドル買いも入っているもよう。

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667



LME銅は反発 週間ベースでおよそ3%高
カーブ取引も反発 COMEX銅相場も反発 SHFE銅相場も反発
LME非鉄相場は全面高

25日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の5,910.25ドルより90.25ドル高の6,000.50ドル、この週2.70%の上伸。3か月物も、前日の5,939.50ドルより85.00ドル高の6,024.50ドル、この週2.50%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫量は、ほぼ横ばいおよそ26万7,000トン、この週3.18%の増。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（8月限）は、前日の265.25セントより4.65セント高の269.90セント、この週7.45セントの上伸。カーブ取引は、前日の5,986.00ドル～5,986.50ドルより119.00ドル～120.50ドル高の6,105.00ドル～6,107.00ドル、この週3.04%～3.05%の上伸。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（9月限）は、前日の4万8,190元より220元高の4万8,410元、この週1.13%の上伸。

錫は反発

LME錫相場の直物は、前日の1万9,062.50ドルより162.50ドル高の1万9,225.00ドル、この週2.93%の上伸。3か月物も、前日の1万9,035.00ドルより117.50ドル高の1万9,152.50ドル、この週2.43%の上伸。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(8月後半)

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(8月後半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ダライ粉=121円～123円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=127円～132円。

鉛は続伸

LME鉛相場の直物は、前日の2,005.50ドルより72.50ドル高の2,078.00ドル、この週5.16%の上伸。3か月物も、前日の2,024.00ドルより67.00ドル高の2,091.00ドル、この週4.50%の上伸。

亜鉛は上伸

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,441.00ドルより67.25ドル高の2,508.25ドル、この週6.30%の上伸。3か月物も、前日の2,435.50ドルより72.50ドル高の2,508.00ドル、この週6.47%の上伸。

アルミは反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊アルミ合金は反発

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,021.25ドルより40.50ドル高の2,061.75ドル、この週3.16%の上伸。3か月物も、前日の2,043.50ドルより41.75ドル高の2,085.25ドル、この週2.95%の上伸。LMEアルミ合金相場の直物は、横ばいの1,570.00ドル、この週0.48%の下落。3か月物も、横ばいの1,590.00ドル、この週横ばい。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,625.25ドルより19.75ドル高の1,645.00ドル、この週1.51%の上伸。3か月物も、前日の1,662.50ドルより12.50ドル高の1,675.00ドル、この週1.21%の上伸。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ110万トンより約5,000トン減のおよそ109万5,000トン、この週2.24%の減。

ニッケルも反発

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,137.50ドルより170.00ドル高の13,307.50ドル、この週0.55%の上伸。3か月物も、前日の13,232.50ドルより152.50ドル高の13,385.00ドル、この週0.37%の上伸。

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

LME公式値(単位:ドル) / 8月24日(現地)

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,000.50	19,225.00	2,078.00	2,508.25	2,061.75	1,570.00	1,645.00	13,307.50
	前営業日比	90.25	162.50	72.50	67.25	40.50	0.00	19.75	170.00
	週間増減比	2.70%	2.93%	5.16%	6.30%	3.16%	▲0.48%	1.51%	0.55%
先物	公式値	6,024.50	19,152.50	2,091.00	2,508.00	2,085.25	1,590.00	1,675.00	13,385.00
	前営業日比	85.00	117.50	67.00	72.50	41.75	0.00	12.50	152.50
	週間増減比	2.50%	2.43%	4.50%	6.47%	2.95%	0.00%	1.21%	0.37%

海外非鉄金属相場

(8月25日 入電・現地 8月24日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with 4 columns: 前買, 場売, 後買, 場売

銅 A G
現物 6000.0 6001.0 6073.0 6075.0
前日比 90.5 110.5
先物 6024.0 6025.0 6086.0 6088.0
出来高 108,583

錫 H G
現物 19200.0 19250.0 19205.0 19255.0
前日比 185.0 75.0
先物 19150.0 19155.0 19150.0 19200.0
出来高 3,677

鉛
現物 2077.0 2079.0 2087.5 2089.5
前日比 73.0 47.5
先物 2090.0 2092.0 2101.0 2103.0
出来高 44,570

亜鉛 S H G
現物 2507.5 2509.0 2548.5 2550.5
前日比 67.0 74.5
先物 2507.0 2509.0 2540.0 2542.0
出来高 97,434

アルミ H G
現物 2061.5 2062.0 2076.5 2078.5
前日比 40.5 36.0
先物 2085.0 2085.5 2099.0 2101.0
出来高 148,493

アルミ合金
現物 1565.0 1575.0 1618.0 1628.0
前日比 0.0 41.0
先物 1580.0 1600.0 1630.0 1640.0
出来高 76

北米特殊アルミ合金
現物 1640.0 1650.0 1650.0 1660.0
前日比 24.5 21.0
出来高 1,014

ニッケル
現物 13305.0 13310.0 13300.0 13325.0
前日比 170.0 105.0
先物 13380.0 13390.0 13375.0 13400.0
出来高 79,108

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with 6 columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム
8月限 269.90 1206.3 1477.9 786.4 943.60
9月限 270.05 1206.3 1479.4 789.3 928.60
10月限 270.85 1208.6 1483.1 789.4 927.10
11月限 271.60 - - - -
12月限 272.30 1213.3 1490.1 - 919.20
前日比 4.65 19.3 25.2 11.2 17.40
出来高 149,620 291,437 138,220 - 7,080

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートにて換算)

Table with 11 columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅 銅 アルミ 亜鉛 鉛
ドル・円 6001 19250 2079 2509 2062 13310 270 48410 14680 21330 18400
T T S 6039 2360 270 322 243 1693 712 800 243 352 304
112.20 + 5336 + 15 + 8 + 6 + 4 + 15 + 9 + 8 + 2 + 7 + 7
-0.31

フリー・マーケット
■米国生産者価格
銅(セント/ポンド)
銀(セント/オンス)H H社 1487.5

■NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

■ロンドン相場(ドル)
金(オンス) 1197.7
アンチモン99.6%(トン) 8000 - 8200
ピスマス99.99%(ポンド) 4.80 - 5.00
カドミウム99.99%(ポンド) 1.25 - 1.35
インジウム99.97%(キロ) 275 - 290
セレンウム99.5%(ポンド) 13.50 - 14.50
スポンジチタン99.5%(キロ) 7.30 - 8.00
フェロモリブデン欧州産(キロ) 29.00 - 29.50
コバルトカソード99.8%(ポンド) 32.50 - 34.00
マグネシウム中国産99.9%(トン) 2450 - 2600
タングステンAPT(MTU単位) 330 - 340
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 90 - 100

■K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)
(24日) (27日)
相場 78.08 77.81
出来高 50 45
ドル建て価格 19000 18980
O Dレート 3.7600 3.7600
M \$ / US \$ レート 4.1093 4.0995
採算円/キロ 2341 2327
US\$採算円/キロ 2142 2134

L M E 在庫 (トン)
在庫 増減
銅 267,075 125
錫 2,940 50
鉛 126,725 175
亜鉛 247,400 ▲ 1,175
アルミ 1,095,125 ▲ 4,850
アルミ合金 13,600 0
北米特殊A L 合金 152,660 ▲ 240
ニッケル 242,604 ▲ 948

コメックス銅在庫(トン) 194,024 ▲ 724

上海在庫(トン)
銅 146,590 ▲ 8,486
(8/24 現在) アルミ 895,880 ▲ 3,203
亜鉛 30,800 ▲ 4,130
鉛 18,277 ▲ 420

NYカーブ
銅 6087.00 ~ 6088.00 123.00
アルミ 2100.00 ~ 2101.00 31.00

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛
9月限 48410 14680 21330 18400
10月限 48440 14735 20925 18150
前日比 220 75 325 385
出来高 56368 30222 42828 13014

非鉄金属製品相場

(8月27日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	930	960	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	940	970	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1100	1160	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1130	1150	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	790	830	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	900	960	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	910	960	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	990	1020	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	910	960	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1190	1200	〃 5052板	650	650
黄銅小板2.0ミリ	785	810	〃 5083板	665	665
〃 0.3ミリ	810	830	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	965	1020	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1380	1300	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1330	1350	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	650	690	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	680	720			
四角棒	710	750	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	690	730	白金(グラム)	◎ 3162	
ネーバル	790	830	パラジウム(グラム)	◎ 3715	
高力	790	830	金(グラム)	◎ 4704	合金鉄
黄銅線6ミリ	1015	1060	銀(キログラム)	◎ 60370	6月輸入単価 (CIF)
黄銅平角線ロール仕上	1220	1280			フェロマンガン2%以上炭素含有
黄銅条1.5×100	775	820	レアメタル輸入価格	6月通関 (CIF)	〃 その他
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)	253	フェロシリコン55%以上
〃 パネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物	2210	フェロクロム4%以上炭素含有
リン青銅棒25ミリ	2120	2130	タンタル	58345	フェロモリブデン純分60%以上
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム	258	フェロバナジウム
洋白板一般用1.0ミリ	2730	2680	コバルト	10264	フェロニッケル33%未満
〃 パネ用1.0ミリ	2920	2880	インジウム	34161	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ
					326

減摩合金 8月16日改定

	8月16日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	2705
2種	2635
3種	2560
4種	2255
5種	2185
7種	890
8種	800
9種	720

銅合金地金 8月16日発表

	8月16日発表	
(標準価格)	大阪	東京
BC 1種	795	—
2種	965	—
3種	1010	—
6種	855	—
7種	890	—
YBSC 3種	710	—
LBC 3種	975	—
PBC 2種	1030	—

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 700(23) 金 4335(27)
 () 実施日 電気鉛 284(16) 銀 54,440(27)
 電気亜鉛 334(27) 錫(99.99%) 3,550(17)

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(8月27日調べ)		インジウム大口(99.99%)		42,000 ~ 46,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1号銅線	626	623	電 気 銅	◎ 686	◎ 681	◎ 688	◎ 683	
2号銅線	566		電 気 亜 鉛	◎ 324	◎ 319	◎ 324	◎ 319	
上銅(新切)	598	597	蒸 留 亜 鉛	◎ 317	◎ 312	◎ 317	◎ 312	
雑ナゲット	536	538	ダイカスト亜鉛2種	◎ 266	◎ 260	◎ 266	◎ 260	
並銅	547	545	再生亜鉛(98%)	◎ 236	◎ 231	◎ 236	◎ 231	
下銅	520	516	電 気 鉛	282	277	282	277	
銅削粉	523	520	再 生 鉛 1 号	262	255	262	255	
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	265	250	265	250	
新切黄銅セバ	438	454	錫 1 号	2250	2200	2250	2200	
コーペル	426	436	ア ン チ モ ン	1080	1030	1080	1030	
黄銅棒地	416	421	ニッケル(メッキ用)	1700	1650	1700	1650	
黄銅削粉	400	407	コ バ ル ト	9200	8900	9200	8900	
並黄銅	420	423	セ レ ニ ウ ム	4200	4000	4200	4000	
黄銅ラジエター	299	297	ビ ス マ ス	1400	1300	1400	1300	
交叉ラジエター	359	344	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450	
黄銅鑄物	422		水 銀	1800	1700	1800	1700	
山送り	197		アルミ地金99.70%	◎ 266	◎ 262	◎ 268	◎ 264	
上青銅鑄物	494		アルミ二次地金99%	212	207	212	207	
並青銅鑄物	480	486	〃 90%	205	200	205	200	
上青銅鑄物削粉	485	480	アルミ二次合金ADC12	319	314	322	317	
並青銅鑄物削粉	472	470	鑄物用C2BS	344	339	346	341	
新切リン青銅(伸銅)		630	青銅合金地金3種	965	955	1010	1000	
〃 (鑄物)	603		〃 6種	835	825	855	845	
リン青銅削粉	504	500	ハンダ錫60%	1870	1830	1895	1865	
新切洋白(電子材)	528	512	〃 50%	1650	1600	1675	1645	
新切亜鉛	◎ 147	◎ 147	〃 40%	1490	1430	1450	1420	
ダイカストくず	◎ 132	◎ 132	減摩合金2種	2620	2590	2625	2595	
亜鉛ドロス	◎ 127	◎ 117	〃 4種	2240	2215	2245	2215	
上鉛	100	98	〃 7種	860	810	860	810	
電池巢鉛ケース込	40	37	ステンレス・特金 18-8ステンレス 新切			60	65	
活字鉛	95	92	〃 ダライ粉			45	50	
新切アルミ1級	158	161	13クローム 新切			18	18	
新切サッシ1級	159	160	ハイス 9種			130	130	
新切合金1級	149	150	〃 ダライ粉			—	—	
機械鑄物1級	114	114						
ビス付サッシP	100	103						
合金削粉P	91	91						
込ガラP	81	83						
カン・バラ	74	78						